

平成23年度の決算について行政活動のためのお金はどこから来て何に使われたか、そのあらましをご紹介します。

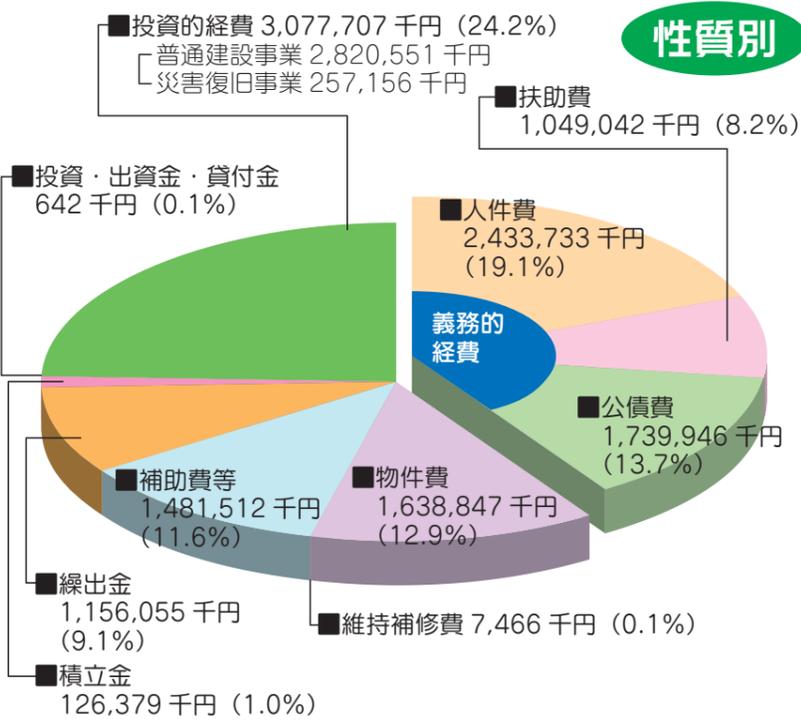
一般会計決算 健全財政を堅持

一般会計の歳入総額は135億2,402万7千円、歳出総額は127億1,728万2千円でした。前年度(平成22年度)と比較すると、歳入で3億8,694万8千円の減(対前年度比△2.8%)、歳出で2億7,887万6千円の減(対前年度比△2.1%)でした。

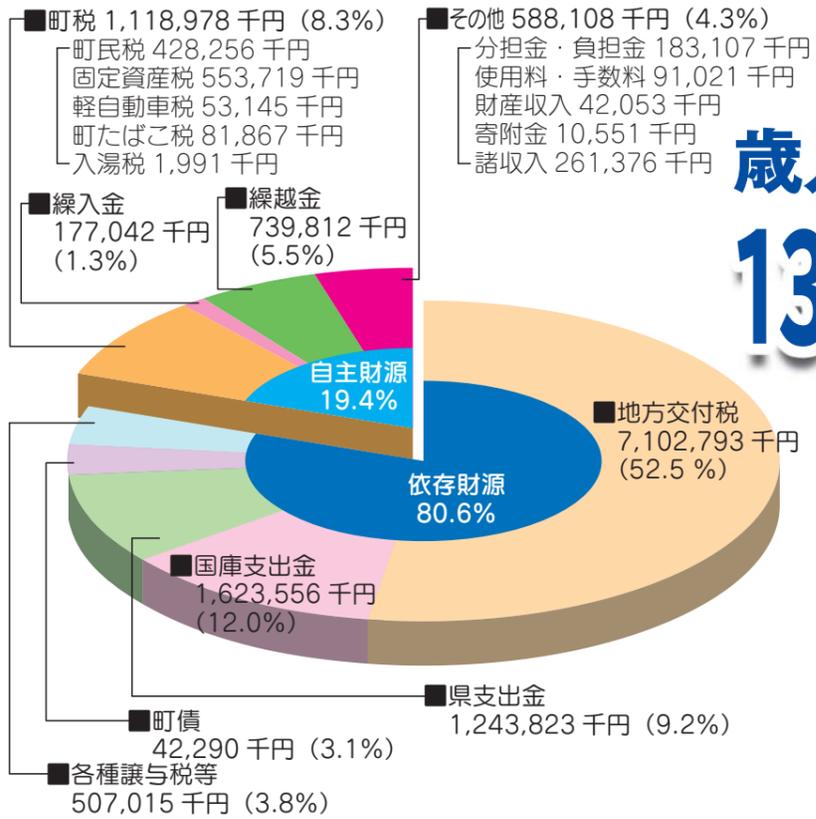
歳入の特徴

歳入減の主な要因として、国庫支出金が国の経済危機対策と地域活性化のための臨時交付金事業が終了したため、前年度比較で4億2,815万3千円の減、地方債発行額も、前年度に比較して3億4,910万円の減となったことが挙げられます。

歳出総額 127億1,728万円



歳入総額 135億2,402万円



歳出については、職員数の減に伴う人件費が、前年度比較で1億1,078万5千円の減、国庫支出金の減に伴う公共事業費が3億1,249万8千円の減となったことに加え、地方債発行額の抑制に伴う公債費の減、1億6,976万5千円が主な要因です。

主要事業

- 総務費**
 - 庁舎建築事業(新庁舎取付道路建設工事外) 72,113千円
 - バスターミナル整備事業(既存建物解体・造成・建築(木造2階建)) 104,958千円
 - 地籍調査事業(12,45平方キロメートル) 315,339千円
 - 地上デジタルテレビ放送対策事業(辺地共聴施設整備補助・高性能アンテナ対策等) 118,145千円
 - 地域づくり対策事業(自治振興区助成・夢チャレンジ推進事業) 58,002千円
- 民生費**
 - 保育所運営事業(公立9ヶ所・私立4ヶ所・へき地4ヶ所) 720,246千円
 - 障害者福祉事業(自立支援事業・地域生活支援事業・相談事業等) 487,271千円
 - 放課後児童健全育成事業(7クラブ) 17,368千円
- 農林水産業費**
 - 有害獣被害防止事業(電気策等設置・捕獲隊助成等) 21,841千円
 - 中山間地域等直接支払制度事業(166集落) 352,753千円
 - 農地・水・環境保全向上対策事業(24組織) 56,733千円
 - フォレスト・コミュニティ総合整備事業(湯鶴葉線) 286,531千円
- 衛生費**
 - 子ども医療費助成事業(13,398件) 30,128千円
 - 老人ホーム運営事業(浜美荘) 150,876千円
 - 塵芥・し尿処理対策事業(小峰クリーンセンター・千滝クリーンハウス) 214,924千円
 - 浄化槽設置整備事業(70基) 31,680千円
 - 太陽光発電・太陽熱利用システム設置補助事業(36基) 2,726千円
 - 健康診査委託事業(妊婦健康診査・各種がん検診・予防接種等) 111,629千円
- 土木費**
 - 道路新設改良事業(横町新町線外22路線) 266,537千円
 - 道整備交付金事業(白小野鶴越線外8路線) 151,553千円
 - 大矢野原演習場周辺民生安定事業(杉木田小野線・久留見尾線) 228,622千円
- 消防費**
 - 社会資本整備総合交付金事業(瀬戸福良線外8路線) 269,118千円
 - まちづくり交付金事業(横町新町線外2路線) 246,641千円
 - 火災予防・消防団活動事業(家庭防火査察・年末警戒・出初式等) 89,834千円
 - 耐震性貯水槽(2基) 8,924千円
 - 消防小型可搬ポンプ(5台) 6,300千円
- 教育費**
 - 小中学校振興・管理業務(小学校9校・中学校3校) 324,589千円
 - 外国青年招致事業(外国語教諭補助3名) 12,621千円
 - 文化的景観事業(重要遺跡確認調査・文化的景観保護推進) 21,146千円
 - 図書館運営事業(音楽会・映画会・移動図書館車・学校図書管理システム等) 42,507千円
 - 保健体育事業(体育指導委員・指導・普及事業・体育施設等) 41,977千円

目的別

